

海の冒険シリーズ③ 若狭湾海の自然学校 同窓会

1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
	42	36	参加人数36（福井県2名・滋賀県12名・大阪府5名 京都府11名・奈良県2名・富山県4名）

2. 事業内容（概要）

◆ねらい

- ・平成25年度教育事業の一つ「若狭湾 海の自然学校」の参加者が再び一堂に会し、ともに活動をするを通して当時の学びを再確認するとともに、さらなる交流を深める。
- ・保護者会を開催し、事業前後の子どもたちの様子を交流し合うとともに、今後の事業展開の参考とする。
- ・ボランティアリーダーと共に事業を企画・運営することにより実践力を高め、後の「若狭パーティー」での実践へとつなげる。

◆期日・期間

2014年2月 1日（土）～ 2014年 2月 2日（日）1泊2日

◆後援・協力団体

なし

◆参加者分析

- ・事情により20名のうち不参加が7名あったが、参加希望は強かった。
- ・すべての参加者の保護者も同伴し、事業に対する関心の高さが伺えた。

◆企画のポイント

月	内容	宿泊場所
2月 1日（土）	始まりのつどい アイスブレイキング 室内レク～ビーチクーミング 思い出ビデオ ナイトウォークラリー 保護者会	国立若狭湾青少年自然の家
2月 2日（日）	写真立て作り 終わりのつどい	

※活動があまり盛りだくさんになり窮屈とならないよう、ゆったりとした時間設定とした。保護者会をしている時間帯は、子ども達について安全に配慮しつつ、ボランティアの運営によりナイトウォークラリーを実施した。また、全体で親睦が深まるように親子だけでなく親同士の交流が図れるレクなども取り入れた。

◆運営のポイント

- ・プログラムの企画は、ボランティアリーダーが主体となって企画し、リーダー性やリーダーの実践力の向上をねらいとした。

- ・保護者会で活発な意見交換ができるような雰囲気作りも考慮し、室内でのレクでは親同士が協力して達成するゲームを取り入れて保護者同士の親睦が深まるよう工夫した。また、保護者会の前に思い出ビデオを子ども達といっしょに鑑賞してもらい、その後に保護者会を開催した。

◆安全管理のポイント

- ・活動の際には、班に複数のボランティアリーダーを配置して、プログラムを進めた。特にナイトウォークラリー実施の際は、幼児の参加もあることから、各グループにボランティア以外に職員も配置するなど安全管理に努めた。

3. アンケート結果

(1) アンケート

参加者	4	3	2	1
事業全体をとおしてどうでしたか	83%	17%	0%	0%
この事業のプログラムはどうでしたか	89%	11%	0%	0%
この事業の運営はどうでしたか	81%	19%	0%	0%

4 満足 3 やや満足 2 やや不満 1 不満

(2) 参加者の声

(保護者より)

- ・学生スタッフが弟妹たちにも積極的に話しかけてくれたので、とてもなついていた。子供に丁寧な接して下さる姿に日頃子供をないがしろにしている自分を反省し、とてもリフレッシュした2日間でした。
- ・日頃できない自然体験ができてよかった。
- ・保護者会では、他の参加者の参加動機や子育てについて意見を聞いてよかったし、参考となった。
- ・親と違った目線で子供の話しが聞けるチャンスは、少ないので大変参考になりました。
- ・すぐに子供たちだけで楽しそうにやっていて、共に7日間がんばってきた絆のようなものを感じました。
- ・活動中、親のところにもまったく来ることがない事がとてもうれしく思えました。
- ・職員とボランティアスタッフの息がいまいち合っていない感じがして、少し淋しかったです。役割分担がきっちりしすぎている様子。

(子どもより)

- ・自然学校は、人とのふれあいを深めてくれて楽しいと思った。
- ・友達は大切だなと思った。
- ・久しぶりに友達やスタッフに会ったのに何事もなかったかのようにまた会話ができた。

4. 成果と課題

(1) 成果

- ・再会により、子供同士の絆をより深めることができ、友達の大切さに気づかせるきっかけにつながった。
- ・レクの運営をボラが行い、子供同士の絆を深める事はもとより、保護者同士の交流も深まるよう進行したことで、夜の保護者会でも活発な意見交換できる雰囲気に繋がり、運営サイドと保護者の双方にとって有益な情報を引き出す機会を得ることができた。また、保護者会を通じ当施設の教育事業への理解を深めてもらうとともに、期待感の大きいことがわかった。
- ・大浜での活動を取り入れ、再び海に親しんでもらうことで、海の自然学校としての締めくくりと思い出作りにつなげることができた。

(2) 課題

- ・保護者がいる中で、進行上、子供たちの注目をこちら側に向けることの難しさを感じた。
- ・ボランティアリーダーとの連携、支援をもう少し密にすべきであると感じた。

5. 活動の様子

はじまりのつどい



室内レク



貝殻拾い



日の入り前の海辺で



夕食



思い出ビデオ



ナイトウォークラリー



朝のつどいでゲーム



写真立て作り



写真立て完成



終わりのつどい



集合写真

